

初任者研修 アンケート

研修科目：初任者研修 「医療機関機能別専門知識・急性期」

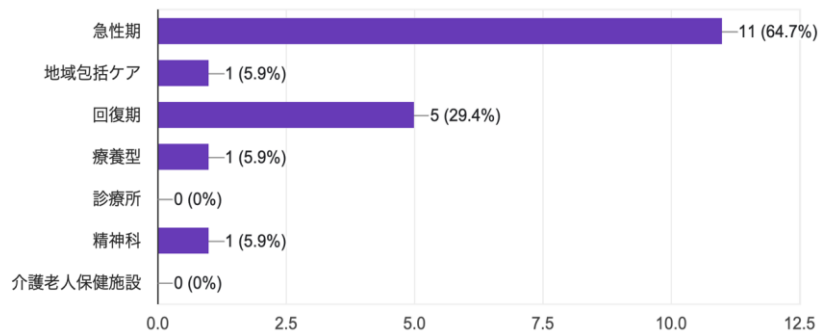
講師名：宮城 幸之佑 氏

研修日：2025年8月24日（日）

受講者数：26名 アンケート回答者 17名

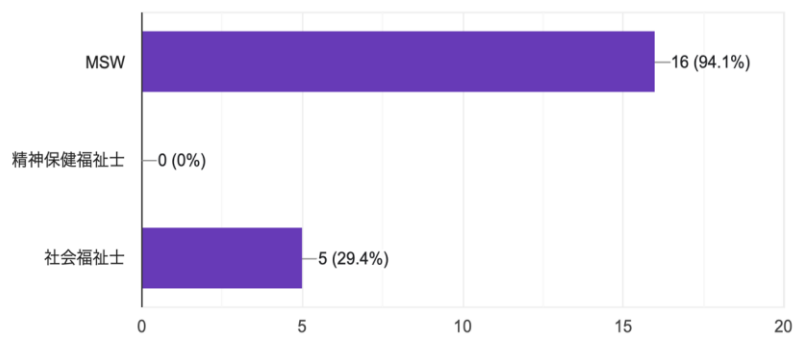
1. 所属機関は何ですか。該当するものにチェックをしてください。

17件の回答



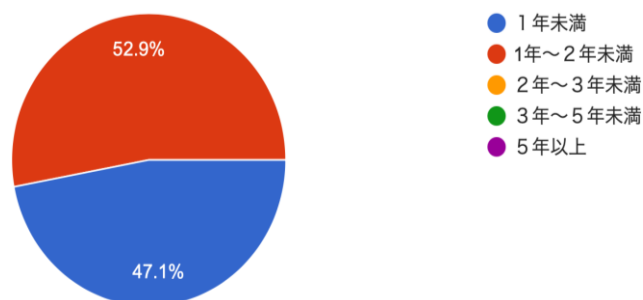
2. 職種は何ですか。該当するものにチェックをしてください。

17件の回答



3. 経験年数は何年ですか。あてはまるものを選んでください。

17件の回答



4. 本講義で学んだことを3つ書き出してください。

退院支援看護師とのすみわけ、DPC包括部分と出来高評価部分

1. 医療制度改正により、「地域包括ケア病棟」とは別に「地域包括医療病棟」が新設された。
2. DPC/PDPS方式の目的。
3. 入退院支援加算について。

1. 3日以内にスクリーニングして7日以内に面談という流れは習っていても診療報酬に結びつけて考えられていなかったので見直すことができた。
2. 急性期という短い中で、患者さんに寄り添って必要な社会資源に繋げるため、知識量が求められると学んだ。
3. 他の機能をもつ病院に繋げる役割もあるため、他機関病院のことも理解して繋げる必要があると感じた。

1. 治療が終われば入院継続は難しい
2. 1日40人入退院する
3. 入院だけでなく、外来でも支援を行う

1. 急性期病院の役割について分かった
2. DPCについて分かった
3. 基準看護必要度について分かった。

・回復期の役割 ・地域包括ケア病棟の役割 ・リハビリの算定基準

・入退院加算 ・求められる効率と効果の意識 ・外来からの支援

1. DPC
2. 看護必要度
3. 入院事前調整加算

①急性期について ②医療・介護施設の違い ③MSWに必要な事

1. 入退院支援加算創設の目的
2. 急性期で働くMSWの支援ポイント
3. 新人MSWの心得

急性期病院の役割について DPCや加算について 急性期MSWに必要なスキル

1. DPCの評価期間で1～3まであり1～2を目指して退院調整
2. 看護必要についてa項目c項目について
3. 入退院支援加算の入院前での作成になること

1. 医療施設
2. 介護施設
3. 急性期の役割

1. 急性期病院の役割
2. 基準
3. 支援ポイント

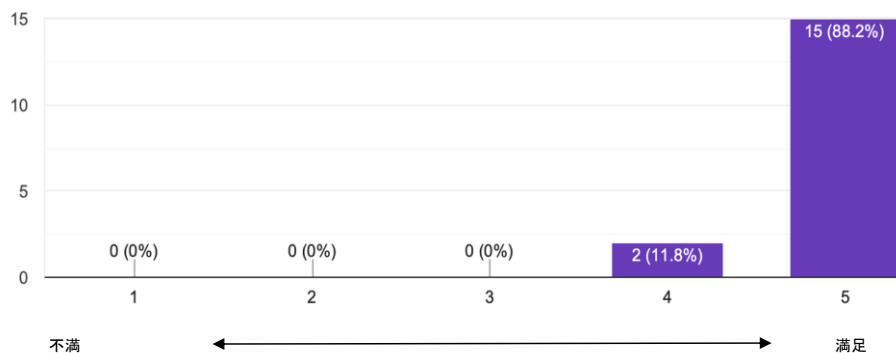
1. 外来からの支援の重要性
2. 急性期病棟は1日40名近くの入退院
3. 支援のスピードが必要で、支援をする為の時間を作り出す工夫が必要

1. 急性期の役割
2. DPC/看護必要度
3. 支援のポイント

- ①まず地域包括ケア病棟ではなく、治療と医療を同時に受けることが出来る「地域包括医療病棟」がある事を初めて知った。
- ②「ただ外来通院している患者さん」っていうのではなく、外来を通っていることをきっかけに支援が今後必要になってくるか、今必要としているのか等と評価をする事で、スムーズな入退院支援に繋がり、ご本人様にとっての利益に繋がる事が分かった。
- ③「新人だから声かけるのが怖い・緊張する」と思いがちだが、新人だからこそ上司・先輩は報連相を常に待ってる事を改めて知る事が出来た。

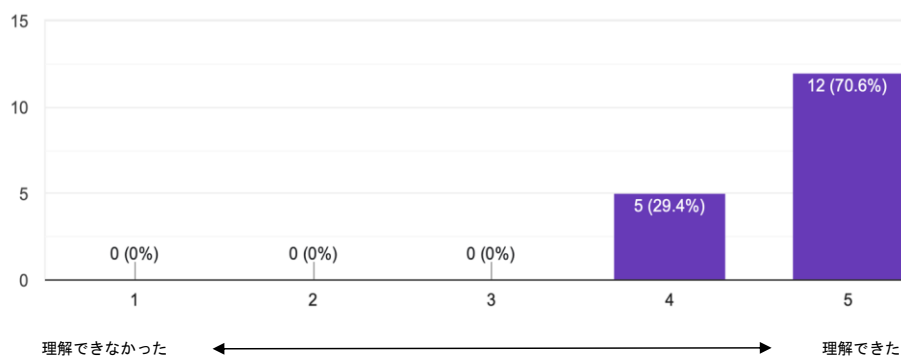
5. 講義全体の満足度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

17件の回答



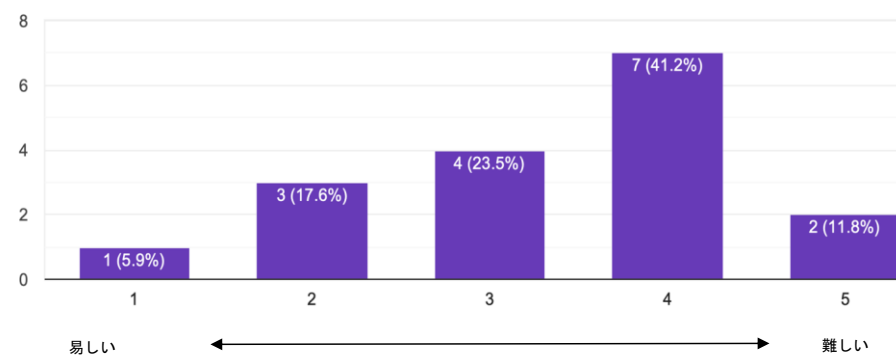
6. 講義内容について理解の程度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

17件の回答



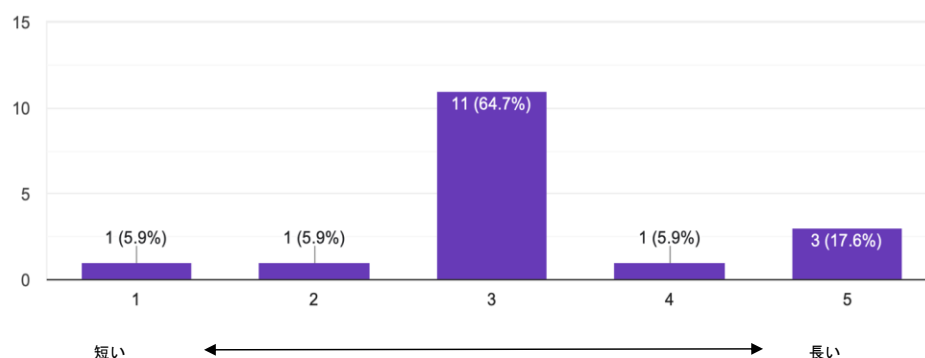
7. 講義内容の難易度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

17件の回答



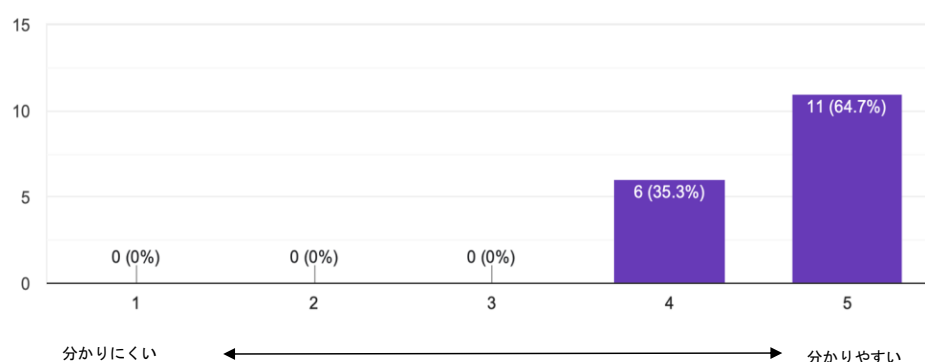
8. 講義の時間配分はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

17件の回答



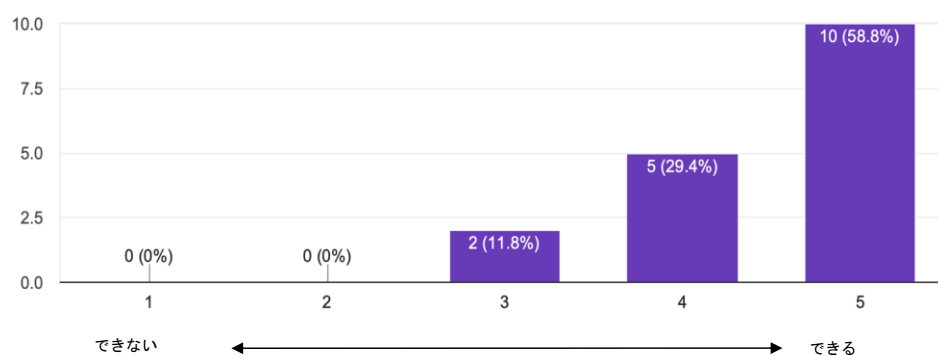
9. 資料の分かりやすさはいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

17件の回答



10. 内容は実践に応用できますか。該当する番号にチェックをつけてください。【5段階】

17件の回答



11. 本日の研修について具体的な感想・意見をお聞かせください。

実際に働いていると価値・倫理を怠り、調整屋になりそうときがあり、共感しました。支援する側にとってもつまらない業務になります。

【質問】働いているMSWに対して、業務の中で価値・倫理で行っている教育があれば教えてください。

「感性が鈍っていないか？容量が少なく理解できないのではないかな？」毎日、自問自答し、自己覚知と他者理解に努め、感性を磨き続ける。

退院困難な要因はルーティン業務と思っていたけれど、困難な要因があるから退院できないと考えて早期に介入すべきことだったのだとハッとしました。在宅での生活がイメージできず何をすべきか分からなくなっていたため、退院困難な要因を活用していこうと思いました。

急性期のスピード感到に迫りつけるよう早い段階から患者との関わりを持ち退院に繋げていくことを意識していきたいと思った。
追い出し屋にならないように患者や家族の気持ちに寄り添った支援が必要という言葉が普段急性期病院で働いているため、とても心に残った

普段整形外科と脳外科の病棟を担当しているので回復期へ転院する患者が多く、今回の講義で算定基準などについて詳しく学び、回復期側の受け入れの基準について学べた

急性期で働く上でMSWの業務は欠かせない事を知りましたが、医療保険加算や退院までの支援等限られた時間で業務を遂行していくのは大変だと感じました。制度をしっかり理解してMSWとして支援していきたいです。

実務で役に立つ内容ばかりでとても参考になりました。もっと早くこの講義を受けたかったです。講義以外にも色々ご教授ありがとうございました。

働く病院の機能によって、同じMSWでも、急性期の場合は、短い期間のなかで情報を収集・聞き取り、効率も重視しながら、支援を行っていくことに、スキルの高さを感じました。だからこそ、新人MSWは報連相はこまめに行う必要があるのだと思いました。

急性の概要からMSWが関わるDPCや看護必要度について知ることができました。

地域包括医療病棟のことを初めて知りました。普段回復期にいたので急性期の忙しい中でも早い判断で患者像を把握していくのはとてもすごいなと感じました

常に学び続けていく姿勢を持ち、業務にあたりたいと思います。

【質問】急性期での入院期間が長いと、転院先がなかなか見つからず、難渋しているケースがあります。繋げ方だったり何かアドバイスがあれば教えていただきたいです。

今後地域包括ケア病棟へ繋げる事が増えてくると思う為、実際にどんな病棟なのか、包括ケア病棟と雰囲気もまた違うのか等興味が出た。
新人だからこそ、信頼関係を築いていく必要があり、注意やアドバイスを受ける事は当たり前。謙虚な姿勢をもって業務を行っていきたいと感じた。

急性期病院のMSWの動きについて理解できました。
丁寧な支援のために時間を作り出す工夫をすることも業務のひとつとして大事だと思いました。

12. 今後の研修でとりあげてほしいテーマや希望する講師等についてお聞かせください。

退院支援時の患者様とご家族の意見の相違等、MSWが抱えるジレンマと対応策について。

初任者研修 アンケート

研修科目：初任者研修 「医療機関機能別専門知識・回復期・地ケア」

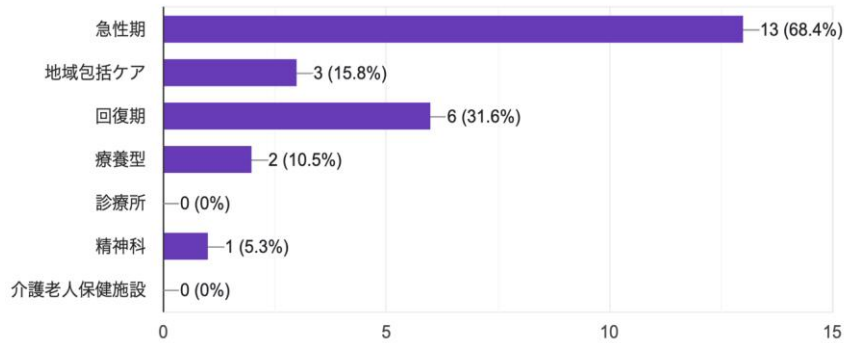
講師名：大城 将平 氏

研修日：2025年8月24日（日）

受講者数：26名 アンケート回答者 19名

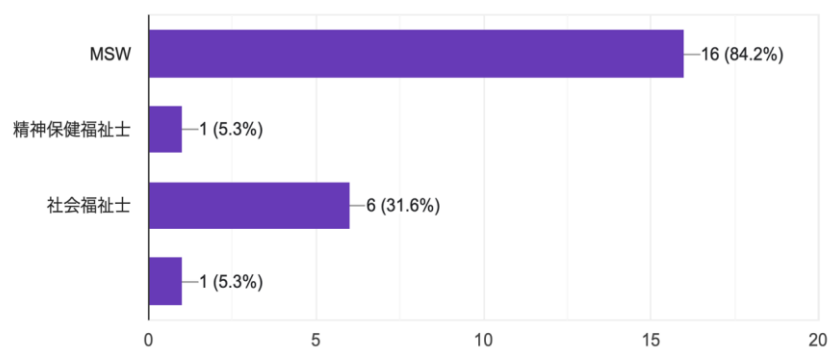
1. 所属機関は何ですか。該当するものにチェックをしてください。

19件の回答



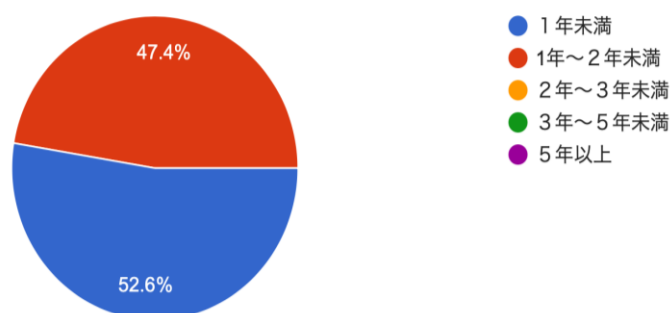
2. 職種は何ですか。該当するものにチェックをしてください。

19件の回答



3. 経験年数は何年ですか。あてはまるものを選んでください。

19件の回答



4. 本講義で学んだことを3つ書き出してください。

1. 回復期は実績指数がある。
2. 日常生活機能評価が10点以上の重症患者を4割以上受け入れる。
3. 3割以上改善させないといけない。

-
1. 回復期リハビリ病棟の機能、特性、収入、実績指数など詳細。
 2. 地域包括ケアシステムを支える地域包括ケア病棟の対象者と施設基準について。
 3. 回復期ソーシャルワークについて。
-

1. 回復期リハビリテーション病棟の算定上限日数
 2. 難病リハビリテーションの受け入れ先
 3. 地域包括ケア病棟の概要について
-

①回復期 ②地域包括ケア ③リハビリテーションとの連携

1. 地域包括ケア病棟の特徴と急性期病棟、地域包括医療病棟の機能比較について
 2. 事例に対するグループワークにおいて、失語症の患者様とのコミュニケーションの取り方について。
 3. 回復期リハビリテーション病棟協会「SW10箇条(第3版)」について。
-

1. 回復期について 2. 地域包括ケアについて 3. 活用方法

1. 回復期病棟の対象疾患と施設基準
 2. 地域包括ケア病棟の機能と施設基準
 3. 回復期と地域包括ケアの違い
-

1. 外来からの支援の重要性
 2. ソーシャルワークの価値、倫理を確認し、置かれている状況を把握し一緒に考えていく
 3. 支援の事前準備、予測をたてる
-

1. 回復期病棟は日数が長期化すると、リハビリ時間も少なくなってしまうと学び案内に気をつけないといけないと学んだ。
 2. 地域包括ケア病棟は、40日という短い期間の中で早く動かないといけなため、急性期の時点である程度は方向性を定めて説明する必要があるのだと学んだ。
 3. それぞれの病棟によって診療報酬も異なるが、違う機能の病院でも患者さんの意向を聞き取る、家族の介護負担を考え支援するといったMSWとしての視点やポイントは変わらないことを改めて学んだ。
-

- ①回復期のイメージが脳血管疾患リハ・運動器リハ・廃用リハのイメージだったが、他にも難病リハやがん患者リハ等もある事を知った。
 - ②地域包括ケア病棟は、回復期病棟とは違い基本的に対象病名の縛りはないが、入院期間が60日間と限られている。また、令和6年度の診療報酬改定に伴い、入院期間が40日を超えてしまうと入院料が減ってしまう。その為、出来るだけ40日で退院できるよう支援が必要になってくる。
 - ③院内の職員だけがチームではない。ご本人の在宅での様子や性格等も知っているご家族はもちろん、ケアマネやデイ・訪問等のサービス事業所の方々もチームの一員である事を改めて学ばされた。
-

1. 施設基準をクリアしてないとできないリハある事
 2. 回復期2割は対象外でも、取ってくれる
 3. 回復期の算定上限日数まで入院する事はほぼない
-

1. 回復機能を持つ機関の特性
 2. 地域包括ケア病棟の特性
 3. 異なるソーシャルワーク実践
-

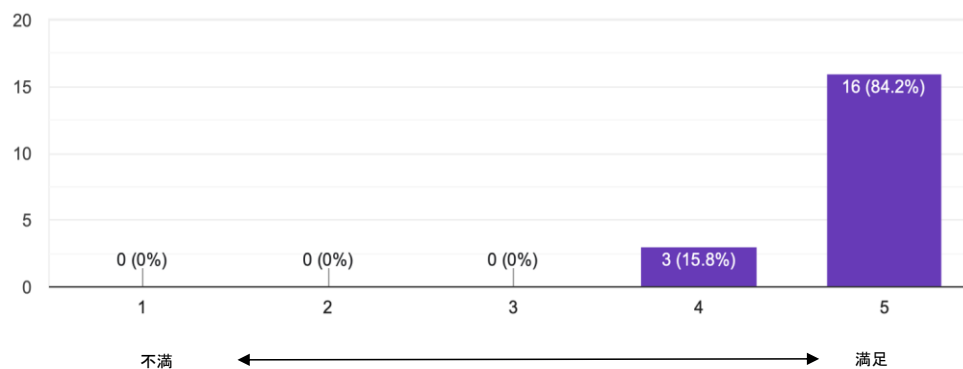
1. 発症から60日を超えた場合、1日6単位（2時間）まで上限あり
 2. 地域包括ケア病棟は緊急度は高～低まで幅広い
 3. 地域包括医療病棟（R6年新設）
-

・リハビリの種別で加算が取れる病院が違う ・実績指数 ・リハビリ効果

1. 回復期は2割対象外でも良い。
 2. 地域包括ケアの役割として急性期の下、急性期の後、その他という役割があること
 3. 本人中心の生活
-

5. 講義全体の満足度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

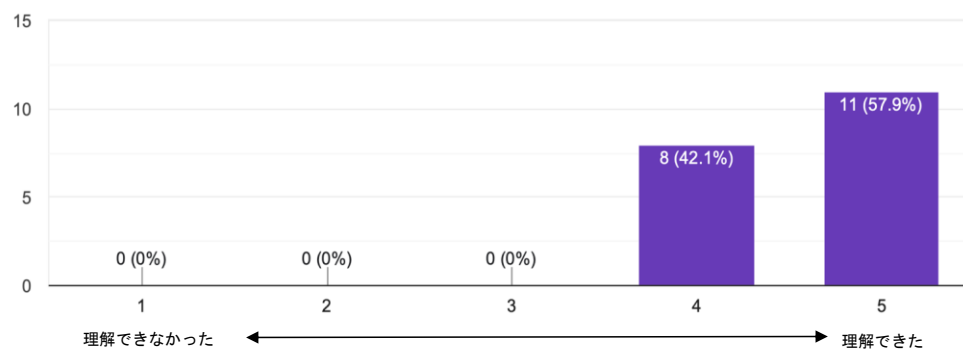
19件の回答



6. 講義内容について理解の程度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

【5段階】

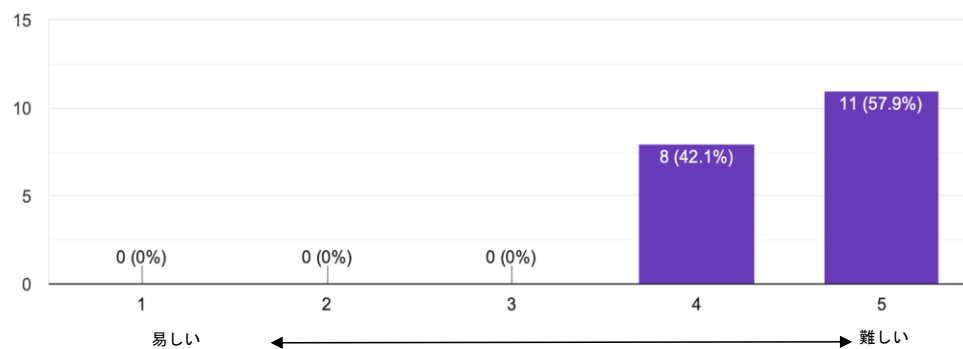
19件の回答



6. 講義内容について理解の程度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

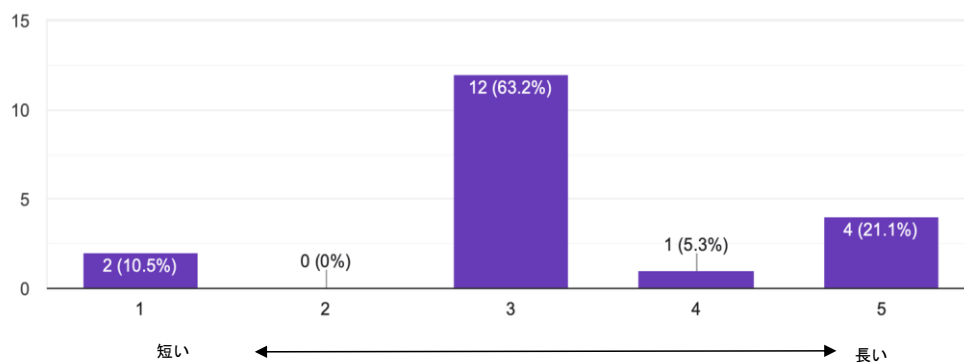
【5段階】

19件の回答



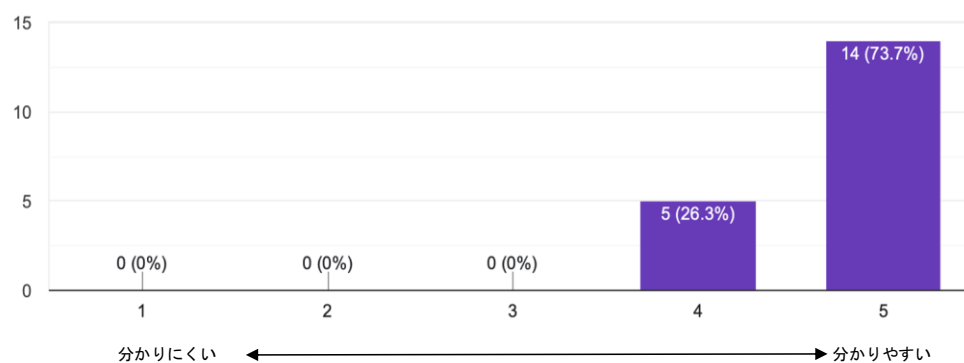
8. 講義の時間配分はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

19件の回答



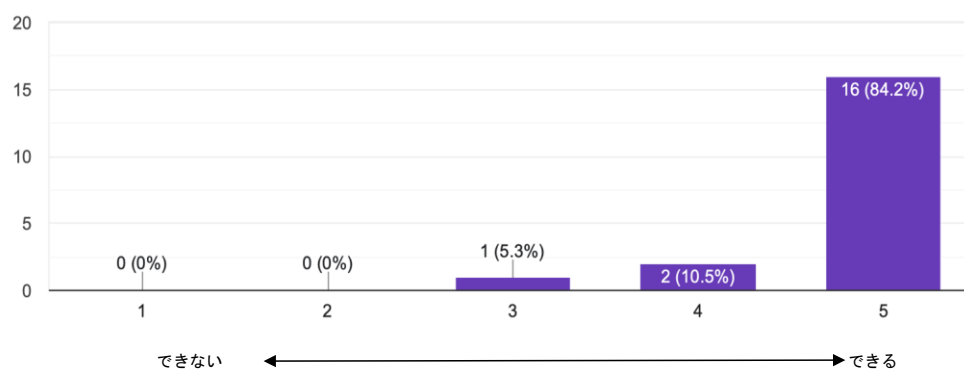
9. 資料の分かりやすさはいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

19件の回答



10. 内容は実践に応用できますか。該当する番号にチェックをつけてください。【5段階】

19件の回答



11. 本日の研修について具体的な感想・意見をお聞かせください。

回復期は脳血管疾患系と骨系などを受け入れてる印象だったが、入院患者のうち2割は別の疾患でも受け入れられることを知りました。また、疾患別の入院期間だけでなく、リハビリでどこまで上がったかも評価の対象になるため、リハだけでなく多職種での関わりが不可欠であると感じました。

回復期で働く中で疑問に思っていた事が、本講義ですっきり解消できました。
学んだことを実践に役立てます。

回復期リハビリテーション病棟の対象疾患含めての算定上限や評価料についてのポイントなど知ることができました。

退院に繋げるためにはセラピストとの連携が必須ということを知れました。また患者様の退院後の生活にも携わる事もあることから、幅広く業務を行うんだと思うと大変重要な役割だと思いました。

7月1日から病院(回復期リハビリ病棟)
に入職し2ヶ月目であるが、仕事で学んだ知識が整理され、正しく理解する事ができた。

毎月1回、除外対象にする患者さんを病棟師長、リハ科、MSWで話し合っていますが、あまり理解できていませんでしたが、今回の講義で実績指数40以上にするためだったのだと理解できました。
また地域包括ケアへ転院調整するときによく40日超えられませんかと言われることがありましたが、減算されるためだと知ることができました。

急性期病院に務めている為、今後回復期や地域包括ケア病棟への転院調整を行っていく上で今回の講義を通してそれぞれの違いを知ることが出来た。また、1番注意していきたいのが、入院期間は決まっているが入院日数は転院先が決める。その為「〇〇ヶ月程入院しますよ」などと断定した言い方をしないよう注意していきたい。また、MSWは病棟やリハに比べ本人と過ごしている時間が少ない為、そういった分からない部分は積極的に聞き「本人を中心に、チームとなって一緒に支援する」という心持ちで院内はもちろん、院外の方ともやり取りを行っていきたいと感じた。

回復期と地域包括ケアの位置がよくわかりました。
【質問】回復期で2割対象外でよいというのは、どの期間の患者さんを対象にしているのでしょうか。

回復期の施設基準、地域包括ケアの役割を知ることができ、急性期との違いを理解できました。

12. 今後の研修でとりあげてほしいテーマや希望する講師等についてお聞かせください。

MSWが直面するジレンマとその対応方法について

初任者研修 アンケート

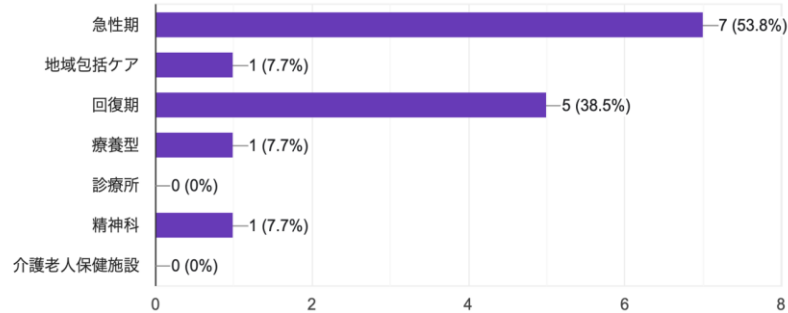
研修科目：初任者研修 「医療機関機能別専門知識・緩和ケア」

講師名：長 原野 氏

研修日：2025年8月24日（日）

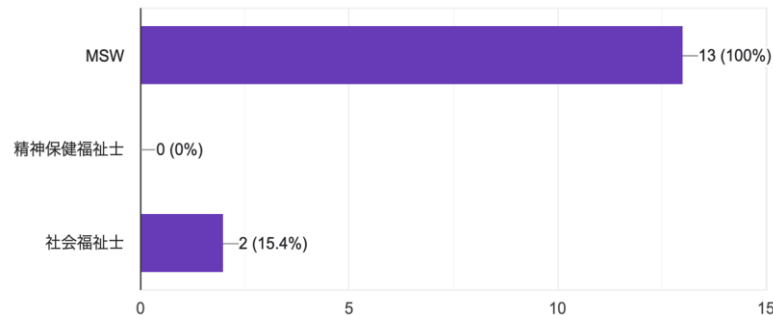
1. 所属機関は何ですか。該当するものにチェックをしてください。

13件の回答



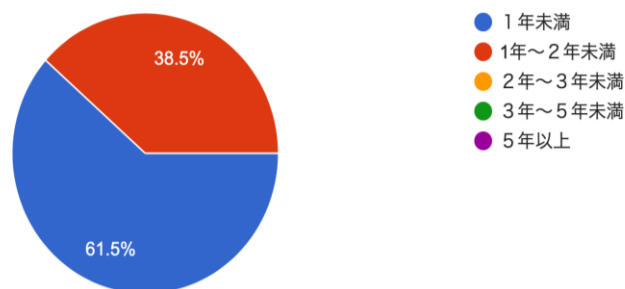
2. 職種は何ですか。該当するものにチェックをしてください。

13件の回答



3. 経験年数は何年ですか。あてはまるものを選んでください。

13件の回答



4. 本講義で学んだことを3つ書き出してください。

- 1.がん死亡は検診で下げられる
- 2.がんの最新の治療が最も優れているとは限らない
- 3.緩和ケアにもHIV患者は入院出来る

1.緩和ケアの概念 2.緩和ケア実際 3.ソーシャルワークの視点

1.がんの基本知識(悪性腫瘍、発生まで) 2.トータルペインから痛みを見ながら介入 3.ACP

1.がん診療ガイドラインについて

2.がん情報サポートセンターなどの情報源

3.緩和ケア、ACPについて

1.がんの基礎知識 2.緩和ケアについて 3.対象者への支援について

1.がんの知識、治療について 2.緩和ケアについて 3.ACPについて

1.緩和ケアに案内するとき、流れる的にしてしまわず患者さんの意向をきちんと確認しながら案内することが大切だと学んだ。

2.がんについて改めて根本から学ぶことができた。

3.患者さんのこれまでの人生をきき、悔いなく過ごせるように私も緩和ケアについて理解して支援することが必要だと感じた。

1.スピリチュアルケア 2.ディグニティセラピー 3.緩和ケア病棟の退院基準

1.「最新の治療」というだけでは、「最良の治療」にはならない。

2.緩和ケアの定義・概念について。

3.ACPについて。

1.身体的な苦痛がある状態では意思決定が確認できない

2.緩和ケア病棟は3ヶ月以上安定して療養できる体調、在宅や施設などで療養可能である場合

3.アドバンスドケアプランニング

1.がんと診断されてから緩和ケアは始まること

2.標準的な緩和ケアと専門的な緩和ケアをがあること

3.身体的な苦痛がある場合、話す余裕はないこと

1.がん診療ガイドラインについて

2.がん情報サポートセンターなどの情報源

3.緩和ケア、ACPについて

1.痛みによって行動が制限される

2.エイズも入院対象

3.良かれと思って誘導していないか注意が必要

①ガンの知識 ②最適な治療 ③緩和ケア

1.緩和ケア病棟について 2.がんについて 3.ACPについて

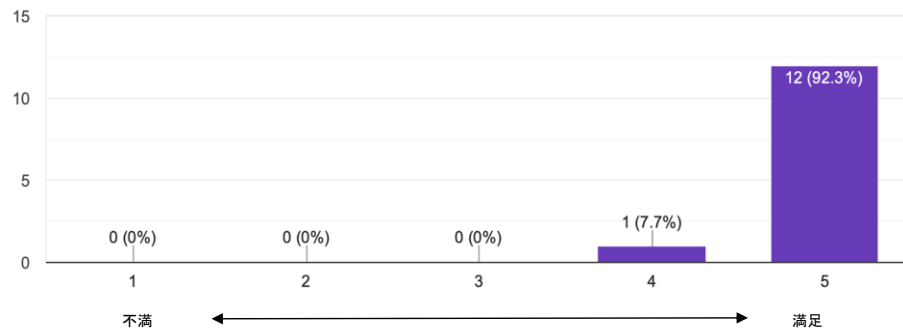
①がんは「2人のうちに1人は何らかのがんになるほど、身近な病気である」事を知った。その為、がんは自分にとっても相手の為にとっても、少しでも知識を入れておきたいなと感じた。

②時代とともに治療法も沢山出てきている中で、「最新の治療だから・・・」という言葉をよく耳にするが、「最新=多くの患者に行われているとは限らない。」という点に改めて考えさせられた。「最新作」や「新しいから何か凄い」と感じる気持ちも分かるが、治療はまた別視点で考える必要があると感じた。その為、自分にはどういった治療法が合うのか、情報を収集しながらまたその不安に耳をかたむけられる支援者でありたいと感じた。

③終末期の患者様への1つの心理的アプローチとして「ディグニティセラピー」という「大切な人に知ってもらいたい特別な事を、対話として手紙や相手に知ってもらう療法」がある事を知った。人は必ず最期はある事を知っても不安は出てくるもの。その中で自分の人生はこうだったな、あの思い出はとても楽しかったな等と振り返ってもらう事で、本人のその後の人生への意欲や、自分を知る事が出来た等「尊厳」にも繋がる。相手へ本人の価値観や人生観を知ってもらい後世へ継承出来たらなと感じた。

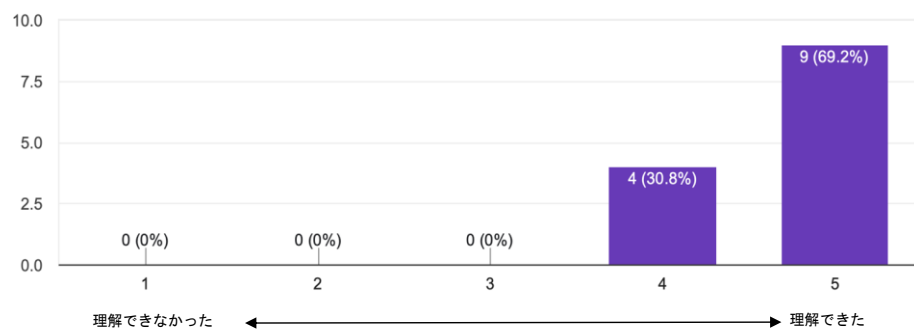
5. 講義全体の満足度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

13件の回答



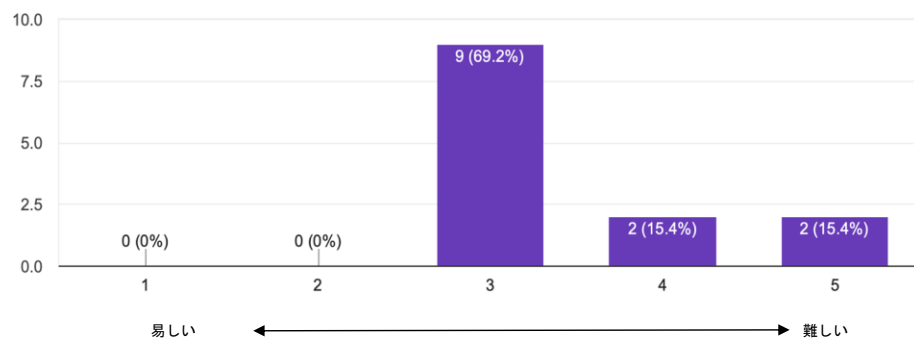
6. 講義内容について理解の程度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

13件の回答



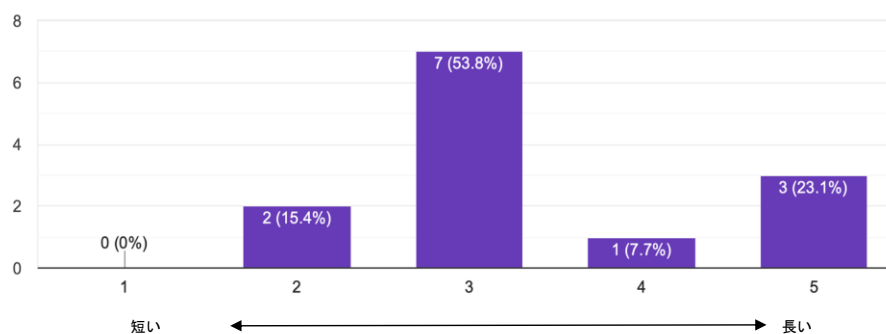
7. 講義内容の難易度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

13件の回答



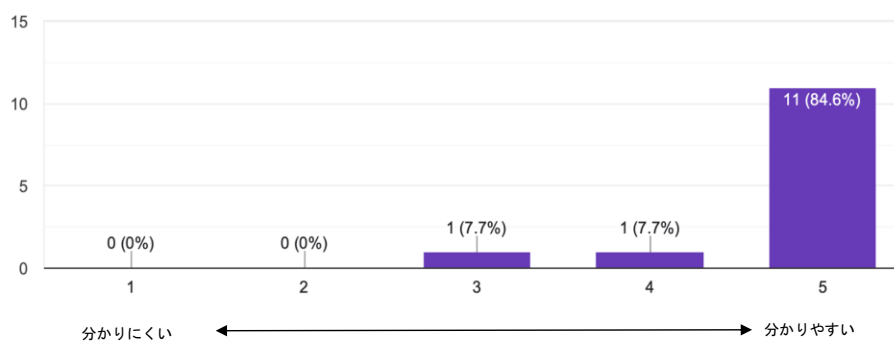
8. 講義の時間配分はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

13件の回答



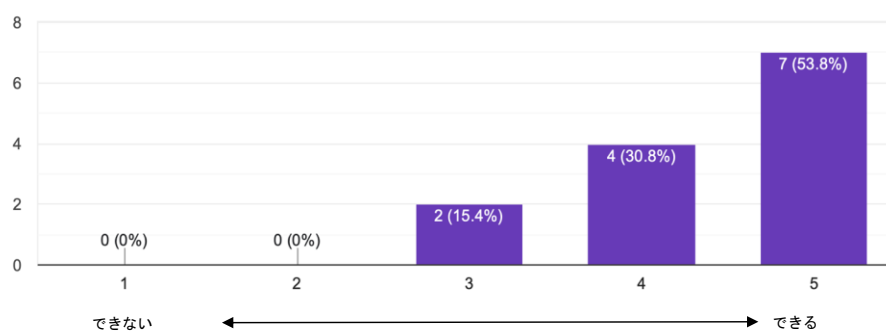
9. 資料の分かりやすさはいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

13件の回答



10. 内容は実践に応用できますか。該当する番号にチェックをつけてください。【5段階】

13件の回答



11. 本日の研修について具体的な感想・意見をお聞かせください。

緩和ケア病棟と社会福祉士の倫理綱領は似通っている部分があると感じた

がんによる終末期の患者様や緩和ケア病棟へ直接時に関わった事がなく、正直とても知らない部分がたくさんあり、まだまだ知りたいという自分の気持ちにも気づけた講義でもあった。生命を驚かす疾患による問題の1つに身体的な苦痛があり、そこに今まであまり目を向ける事が出来ていなかったなと感じた。誰しもが痛みは感じたくないもの、痛みは共感出来なくても「この人は今とても痛がっているんだ」と知るだけで、関わり方も違ってくるし、また信頼関係にも繋がるなと感じた。これから沢山の患者様と関わっていく為、「本人の生活の支援をしている」という気持ちは忘れず、積極的にコミュニケーションをとっていきたいと感じた。

回復期なので、緩和ケア・ホスピスはあまり経験することは少ない（先輩に以前聞いたら稀だけであるとの話）ですが、MSWとして必要な知識だと思いました。

緩和ケアの行われる場面や在宅・病棟(入退院基準や費用)

並びにACPについて、正しく学ぶことができた。

自己決定の為の情報提供ができるよう新しい情報を常にキャッチしていきたいと思いました

予後の短い患者さんの痛みを考えることができました。患者さんの苦しみを分かる人になりたいと思いました。

患者支援の中でも難易度の高い分野かと思いました。

がんを罹患された患者様を支援する時に復習したい内容。

意思決定支援する中でも緩和ケアはとても重要である事を再認識出来ました。

緩和ケア病棟に入院したらソーシャルワーカーとしての介入はあまりないイメージだった。しかし、QOLを改善するために医療者が痛みをどう評価しているのか確認し、意思決定やスピリチュアルケアやディグニティセラピーを駆使していく必要があると考えました。

生活習慣病でもあるガンは、自分もなりかねない病気でもあるため、もし自分になってしまったらと考えながら緩和ケアを対応できたらいいなと思いました。

がんの患者がどのような悩みを抱えているのか、がん治療にはどのようなものがあるのか理解できた。当院でも緩和ケア病棟・外来があるため今後関わりが増えていくと思うので患者の相談に対して相手を傷つけず、力になれるよう知識を身につけていきたい。

12. 今後の研修でとりあげてほしいテーマや希望する講師等についてお聞かせください。

MSWが直面するジレンマと対処方法について

初任者研修アンケート

研修科目：初任者研修 「医療機関機能別専門知識・精神科」

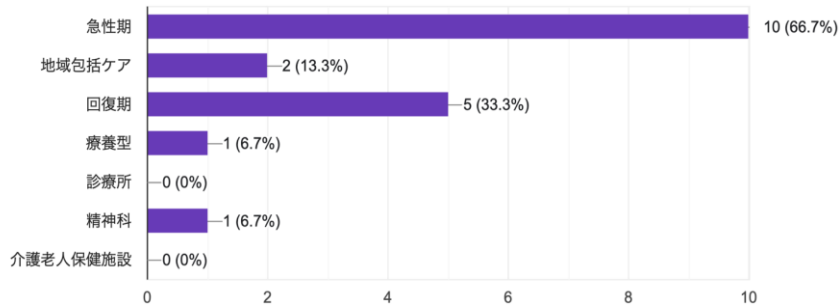
講師名：知花 勉 氏

研修日：2025年8月24日（日）

受講者数：27名 アンケート回答者 15名

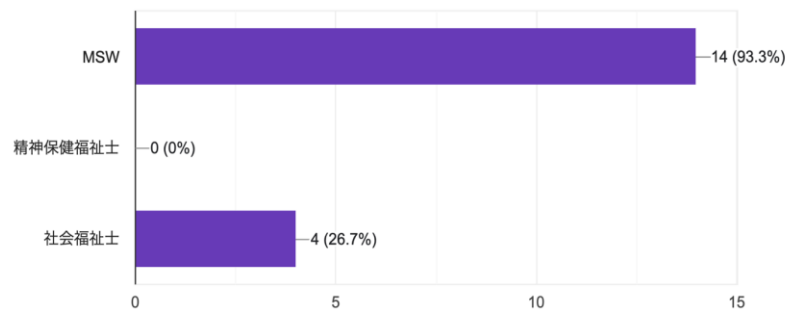
1. 所属機関は何ですか。該当するものにチェックをしてください。

15件の回答



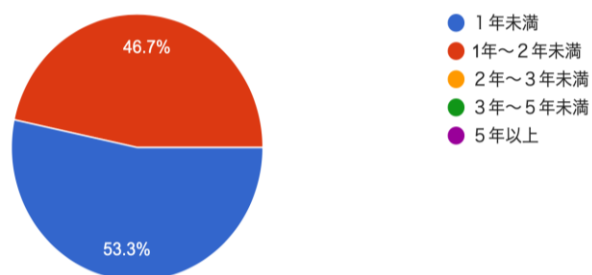
2. 職種は何ですか。該当するものにチェックをしてください。

15件の回答



3. 経験年数は何年ですか。あてはまるものを選んでください。

15件の回答



4. 本講義で学んだことを3つ書き出してください。

-
1. 最も入院が長い療養者53年
 2. 医療保護入院上限6ヶ月
 3. 逆らわないけど従わない
-

-
1. 精神科病院の入院の種類について
 2. 人権擁護について
 3. 精神保健福祉士の役割について
-

- ①新垣病院では、入院している患者様～高齢者まで幅広く、53年間も入院されている患者様がいらっしゃる事を知った。
- ②医療保護入院や、措置入院等良く耳にするが、「治療は大切だが人には人権がある事」を絶対に忘れてはいけないと改めて考えさせられた。その為、診療報酬改定に伴い入院期間に上限が設けられ、入院の内容によってその都度3ヶ月毎や1ヶ月毎にチームで話し合い評価する事が大切だと感じた。
- ③精神的な面での治療が終了したからと全員が全員退院出来るとは限らない。swとして医療者側の気持ちを傾聴しつつ、生活者としての視点で患者さんと関わっていく事が大切だと感じさせられた。
-

-
1. 精神科病院についてどのような流れで入院し、支援しているのか知ることができた。
 2. 逆らわないけど従わないという言葉が印象に残った。精神障害者の生活を支援する立場であり医療と地域生活の橋渡しをし、常に権利擁護の視点を持つことが大切だと学んだ。
 3. MSWの基本である、バイスティックの7原則を振り返り考えることが大切だと学んだ。
-

-
1. 精神科病院の機能について
 2. 精神科病院の入院の種類
 3. 精神科での患者支援について
-

-
1. 精神科デイケアは、就労支援など日中過ごす場所が増えたことによって利用者が減ってきている
 2. 最長53年入院している人がいる
 3. 家族が疎遠になりがちだった
-

-
1. 患者さんは子ども～高齢者まで幅広く。
 2. 精神科病院は生活の場ではないが、何度も更新することによって、53年間入院している療養者もいる。
 3. 精神科病院の入院形態(任意・医療保護・応急・措置・医療観察法)について
-

-
1. 入院者訪問支援事業
 2. 医療保護入院の更新
 3. Y問題
-

-
1. 精神科病棟について
 2. PSWの役割
 3. 精神科病院への入院について
-

-
1. 治療だけでなく生活や住まい、仕事、相談体制など退院したあとも生活を送るために課題があること
 2. 精神障害を持つ方の地域支援
 3. 精神障害の歴史
-

-
- ①精神保健福祉士の役割
 - ②私宅監置と精神保健福祉法
 - ③最長入院歴
-

-
1. 精神科病棟について
 2. 精神科の歴史
 3. 精神保健福祉士の役割
-

-
1. 精神科病棟入院の種類
 2. 地域に返すための関連施設
 3. 精神保健福祉士の専門的な支援
-

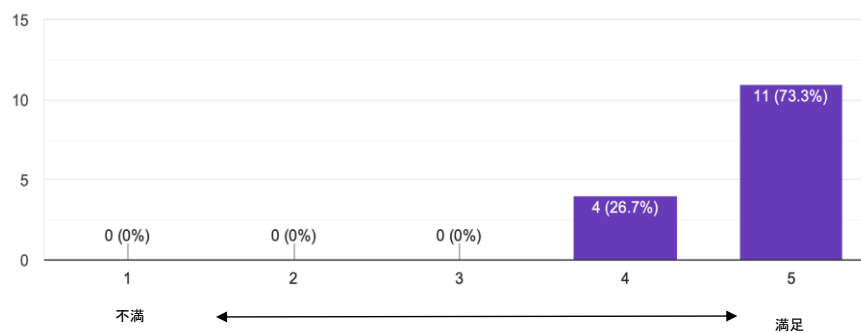
-
1. 精神科のリハはOTがメイン
 2. 市町村長同意
 3. 医療観察法の入院について
-

-
1. 精神科病院の機能
 2. 精神科病院の役割
 3. 事例を通して相談員としてできること
-

-
1. 精神科病院について
 2. 入院の種類について
 3. 権利擁護
-

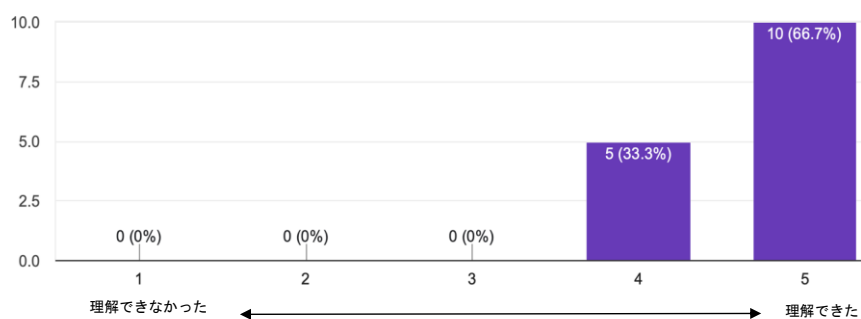
5. 講義全体の満足度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

15件の回答



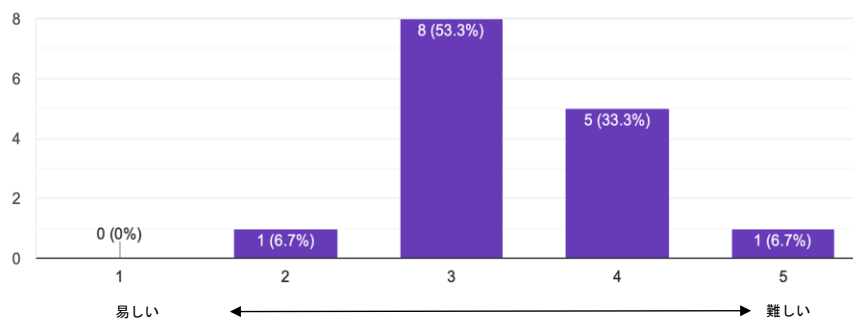
6. 講義内容について理解の程度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

15件の回答



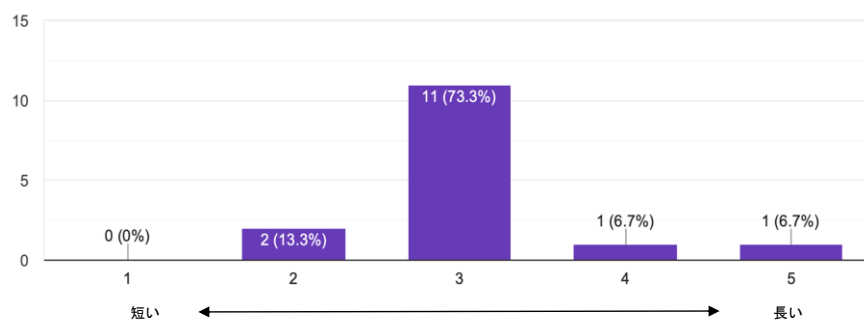
7. 講義内容の難易度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

15件の回答



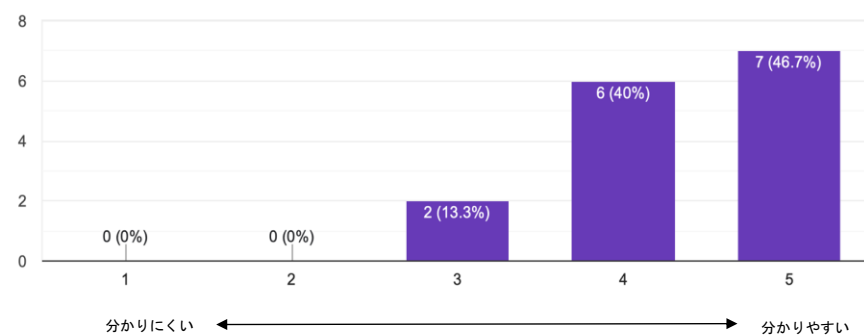
8. 講義の時間配分はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

15件の回答



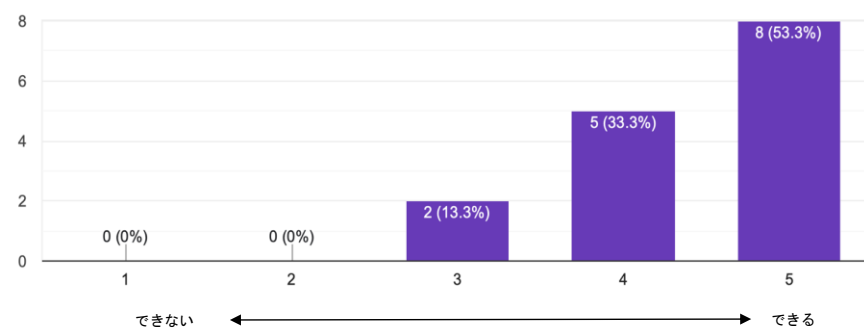
9. 資料の分かりやすさはいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

15件の回答



10. 内容は実践に応用できますか。該当する番号にチェックをつけてください。【5段階】

15件の回答



11. 本日の研修について具体的な感想・意見をお聞かせください。

精神科病院はあまり調整させていただくことも少ないため、知識も乏しかったのですが、今回の講義で入院に関する詳しい説明で理解を深めることができました。

急性期では、精神科へ繋ぐケースも多い中実際に入院されている患者様の現状や、PSWの方々の動きを知る事が出来た。言葉では簡単に医療保護入院・措置入院とは言いが本人にとっての人権とは何かという点で考える事が必要であり、その為には定期的な話し合いを設け、評価していくことが大切であると感じた。「医療と地域生活の橋渡しをすること、常に権利擁護の視点をもつこと」はMSWとしても大切な言葉であると感じた為、その言葉を心に持ちながら日々の支援を行っていきたいと感じた。

『逆らわないけど従わない』という姿勢、とても共感できました。
患者の権利擁護の視点として、お守りになる言葉を頂き勇気づけられました。
精神疾患、認知症等を抱える患者様の退院支援の視点を学ぶ事ができました。

53年も入院している患者がいることに驚いたし、家族も疎遠になるのは想像できるなと思った。一般の病院だと半年に一回家族が入院中の人と会うのはすごく少なく感じるけれど、長期入院してきた人やその家族からすると大切な機会だなと思った

精神保健福祉士の支援方法として「逆らわないけど、従わない」がある。そして役割・責務として「治療は必要だが、それ以上に人権擁護が大切」である。

普段あまり接することのない精神科病院について、少しずつ理解できたことで、PSWの資格にも興味を持った

【質問】認知症治療病床の目的と対象者は、認知症の周辺症状など強く出て、周囲とトラブルを起こしたりする人たちでしょうか。それとも、認知症初期の方で進行速度をとめる方でしょうか。

私も精神科で勤務しているため、精神科の事情や精神保健福祉法のことについて知れて良かったです。長期入院者も治療が済めば退院させていくことになっていますが、地域で生活していくためにも必要な支援が必要だと考えさせられました。制度をもっと知るために、患者様と携わることを増やし必要な制度を把握していきたいです。

精神科の患者は3ヶ月ぐらいしか入院できないと思っていたが、中には自分が生まれる前から入院している患者もいると聞いてとても驚いた。認知症の患者など自分も関わる人が多いので今回実際に働いている方の意見を聞いて、イメージが付きやすくなった

pswの支援の仕方などや長期にわたるケースがあることを知りました。
PSWもMSWも地域への橋渡しという役割は同じなんだと理解しました。

12. 今後の研修でとりあげてほしいテーマや希望する講師等についてお聞かせください。

MSWの直面するジレンマとその対応方法について。

初任者研修アンケート

研修科目：初任者研修 「実践に必要な制度①生活保護」

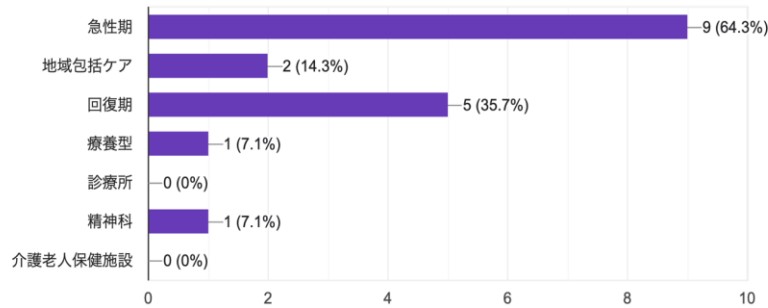
講師名：高江洲 アヤ子 氏

研修日：2025年8月24日（日）

受講者数：25名 アンケート回答者 14名

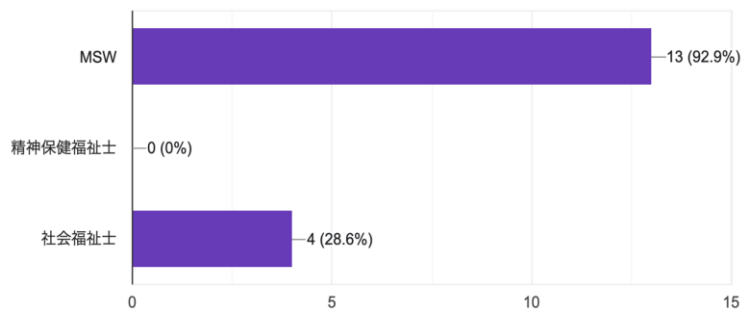
1. 所属機関は何ですか。該当するものにチェックをしてください。

14件の回答



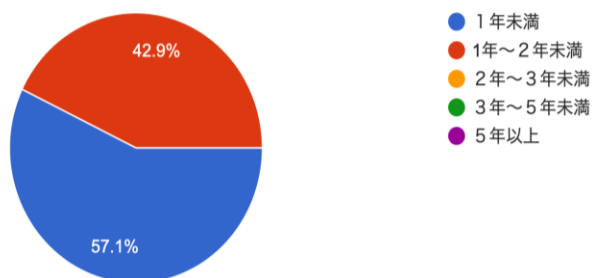
2. 職種は何ですか。該当するものにチェックをしてください。

14件の回答



3. 経験年数は何年ですか。あてはまるものを選んでください。

14件の回答



4. 本講義で学んだことを3つ書き出してください。

1. 生活保護を案内するとき、お金の部分にばかり目がいきがちだけれど、困り感に寄り添い案内することが大切だと感じた。
2. グループワークを通して、1人では思いつかなかった案もでてきて、1人で考えずに相談することで患者さんにとって最善の支援ができるのだと学んだ。
3. お金がないからすぐに生活保護に繋げるというわけではなく、その前に使える資源や制度はないか考え、整理することが大切だと学んだ。

1. 生活保護制度について 2. 沖縄県の生活保護の実態 3. 被保護者の権利と義務

1. 生活保護を受ける人の置かれた状況を理解する
2. 他の制度が使えないか考える他法他施策
3. 生活保護は国の責任で最低限度の生活と自立の助長を支援する

1. 生活保護制度の沖縄県の実態 2. 生活保護制度の基本原則 3. 生活保護申請の流れ

1. 就労可能と考えられる人で働こうとしない者は保護を受けることができない。
2. 沖縄は全国と比べて受給率が高い。
3. 生活上の義務を果たさなければならない。

1. 対処能力の内容
2. 資産の活用 自立に繋がると認められると車を持てること
3. 生活保護手帳 別冊問答集

- ①「お金が無い=生活保護を受けましょう」という考え方になる事も有り得る為、まずは1度立ち止まりその人を知った上で人生案内等を行う必要があると改めて考えさせられた。
- ②生活保護の申請手続きをする際、「申請に時間がかかった」「すぐに受理していただけなかった」との言葉を時折耳にする。申請する際は、本人の状況を理解する事はもちろん、生活保護制度について調べ、根拠が言えるよう準備が必要。その為には生活保護手帳や別冊問答集に目を通す事が大切だと学んだ。
- ③生活保護は「最低生活の保障」と自立の助長を図る事を目的としてある。その為申請は国民の権利であるが、その中でも収入時の届け出が必要である事、家賃や教材費等支給している目的がある為滞納してはいけない事等義務がいくつかある事を頭に入れる必要があると学んだ。

1. 生活保護制度について 2. 被保護者の置かれた状況、権利と義務 3. 生活保護手帳、別冊の活用

1. 生活保護の事例を通してどのように面談するか
2. 被保護者の権利と義務について
3. 生活保護の実態について

生活保護について 扶助について 事例を通しての生活保護に関する理解

生活保護について、制度の活用について、事例を通じた支援のあり方

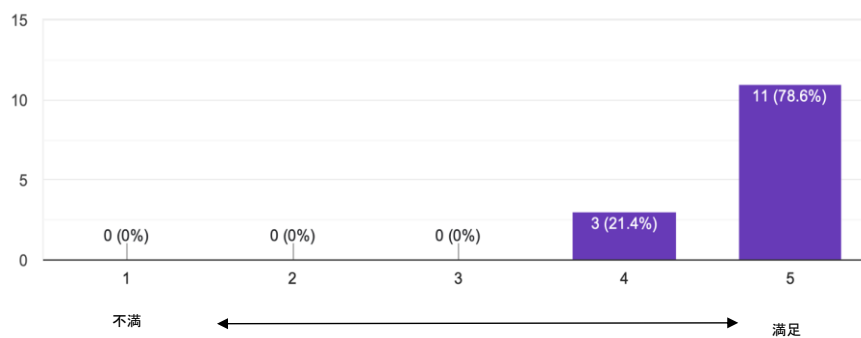
1. 事例についてのグループワークにおいて、患者とのラポールを築くきっかけとなる質問の仕方。
2. 患者に認知の歪みがある場合は、その点について安易に同意せず、きちんと反論する。
3. 行政機関に問い合わせる場合は、法律や通知・通達に基づいて、しっかり根拠を示せるようにすること。

①生活保護法 ②沖縄県の生活保護の実態 ③生活保護の八つの原則

1. 背景の理解、その人について理解しようとする姿勢
2. 他職種から情報収集、共有する
3. 問い合わせる際はしっかり根拠を示す

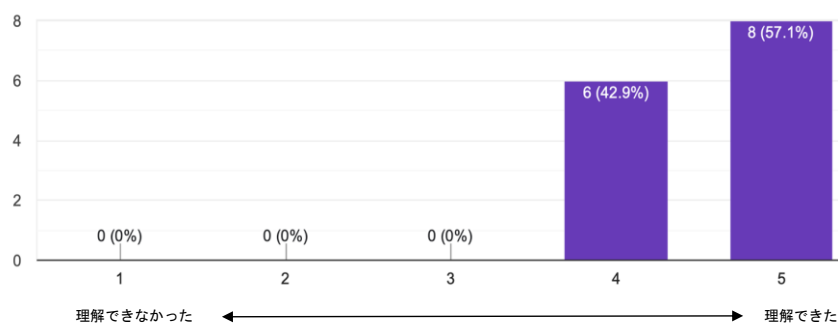
5. 講義全体の満足度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

14件の回答



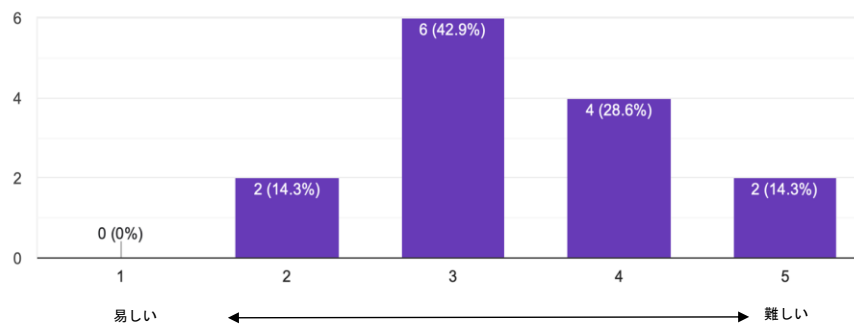
6. 講義内容について理解の程度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

14件の回答



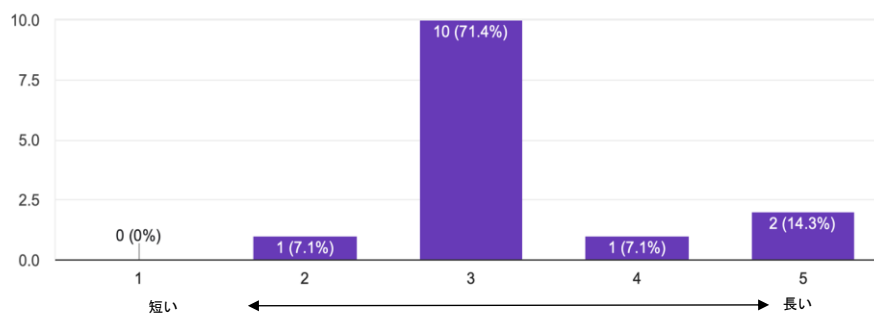
7. 講義内容の難易度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

14件の回答



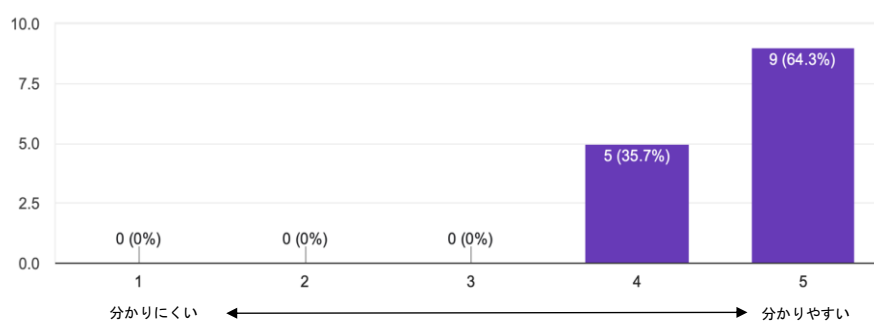
8. 講義の時間配分はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

14件の回答



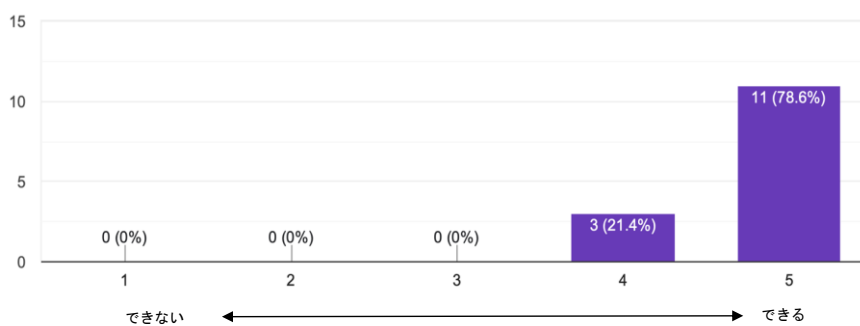
9. 資料の分かりやすさはいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

14件の回答



10. 内容は実践に応用できますか。該当する番号にチェックをつけてください。【5段階】

14件の回答



11. 本日の研修について具体的な感想・意見をお聞かせください。

生活保護を受ける人の気持ちになり、むやみに制度を紹介しない。相手を知ること努め、本人のこれまでの乗り越え方などを教えてもらうかわりをしようと思いました。

事例を通して生活保護申請する際、本人の意向から生活保護制度の医療扶助など適切に対応するために制度理解は大切と感じた。

生活保護手帳があると言うことを始めて知りました。職場にあるか聞いてみようと思います。また、生活保護手帳の別冊問答集を活用して役場と交渉することもあることを学びました。

生活保護を受給している方々は何名か見てきたが、実際にその申請にいたるまでの背景をあまり気にした事が無かった。その背景には、経済的に困窮しているだけでなく、家族関係や社会的背景、本人の性格や価値観等様々な視点から生活保護受給に繋がる。その為常に広い視点で人を見ることが大切だと感じた。これから生活保護の申請手続きのお手伝いをする事も出てくるかもしれない為、まずは「その人を知る」「生活保護を申請する事でどうなるのかの説明が出来るようになる」事を第1の目標に日々生活保護について学んでいきたいと感じた。

行政とやり取りする中で、生活保護手帳や別冊を活用し、しっかり根拠を明示していくことで突破口を見つけ出せるかもしれないと思える内容でした。早速、手帳と別冊を手に入れたと思います。

沖縄県の生活保護の実態について知ることができた。特に那覇は生活保護の方が多く、受給者との関わりも多いため扶助の種類や内容をしっかりと覚えて職務に活かしたい

生活保護については、入院患者家族に最近、よく相談されており、今回詳しく理解することができて良かったです。

生活保護手帳と別冊問答集を入手して、最新の知識と情報を収集し習得する事が肝要である。

生活保護患者と携わる際に、金銭や生活実態を知っておかなければその方に対しての最善な支援ができなくなることを考えさせられました。また、沖縄県の生活保護受給率の実態を知れて、いかに沖縄県が貧困に強いられるか痛感しました。この実態を踏まえながら今後の支援についても考慮し支援していきたいです。

12. 今後の研修でとりあげてほしいテーマや希望する講師等についてお聞かせください。

MSWが直面するジレンマとその対応方法について。

初任者研修アンケート

研修科目：初任者研修 「実践に必要な制度②医療保険」

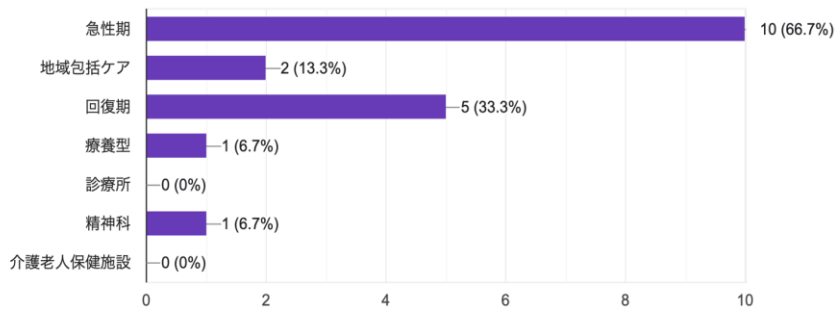
講師名：喜舎場 利恵 氏

研修日：2025年8月24日（日）

受講者数：26名 アンケート回答者 15名

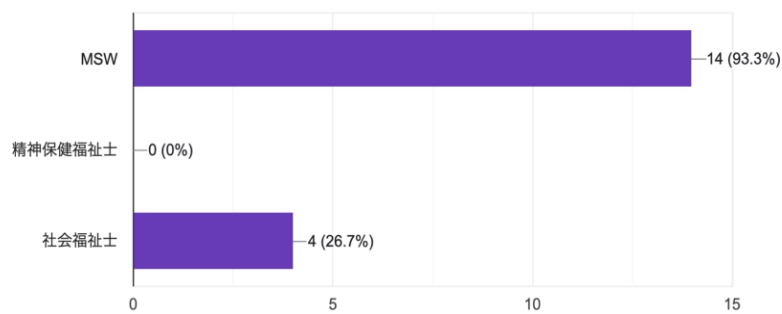
1. 所属機関は何ですか。該当するものにチェックをしてください。

15件の回答



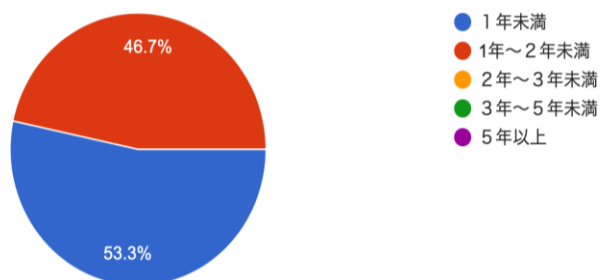
2. 職種は何ですか。該当するものにチェックをしてください。

15件の回答



3. 経験年数は何年ですか。あてはまるものを選んでください。

15件の回答



4. 本講義で学んだことを3つ書き出してください。

1. 医療保険制度について
2. 高額療養費について
3. 医療費相談において使える社会資源と患者のサポートについて

1. 制度を正しく理解し、実践ですぐに答えられるようにならないと支援出来ない。
2. 高額療養費の自己負担限度額の計算方法。
3. 社会資源に精通し、タイミング良く活用できるようになること。

医療保険制度について、高額療養費制度

1. 注意が必要な医療保険は国民健康保険
2. 社会資源に精通し、タイミング良く活用できるようになる、利用するか決めるのはクライアント
3. いつでも相談できるという窓口を開けてから姿勢が大切

1. 医療保険でもそれぞれの人のケースによって最善の方法があるとグループワークを通して、実践的に学ぶことができた。
2. 扶養に入ったほうが、保険料も払ってもらえるしいいと思っていたけれど、国保に切り替えた方がいいケースもあるのだと学んだ。
3. お金の問題は多くあげられるけど、患者さんが何に困っているのかまずはきき、主訴を理解することが大切だと学んだ。

1. 転院すると、病院ごとに自己負担限度額のお支払いをして後から払い戻しがある。
2. 医療保険の訪問診療、訪問看護は高額になるため、中途半端に利用するよりも必要な分をしっかり使う方が合算できて合計金額が安い
3. 高額療養費は70歳から内容が変わる

1. 医療保険の制度、給付について
2. 高額療養費について
3. お金に関する社会資源

1. 短期保険
2. 高額療養費の合算
3. 倫理及び情報提供

1. 医療給付の海外での支払いについて、日本と同じであれば返ってくること
2. 同じ月に2つの病院を入院すると、限度額が2度目はリセットになるので2回限度額分を支払いする
3. 経済的な相談の裏には、本質的な問題があること

1. 高額療養費制度の区分確認
2. 国民健康保険の未納に気をつける
3. 高額療養費の貸付制度

1. 医療保険について
2. 限度額について
3. 入院費の計算法について

- ①医療保険制度
- ②高額療養費制度
- ③ケースを通しての重要性

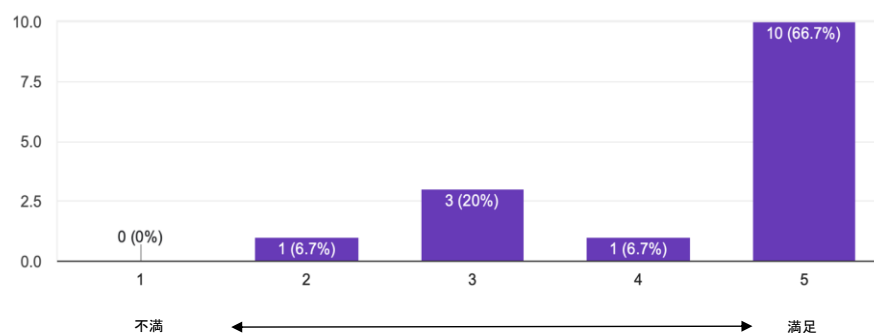
1. 国民健康保険は注意が必要
2. 高額療養費
3. 限度額認定の月末は要注意

- ①協会けんぽや共済組合に加入している方は、口座から保険料が引き落とされるが、国保の方々は自ら納付しないといけない為、滞納してしまう可能性が高い事を知った。その為限度額適用証が発行されず、この制度を利用する事が出来ない事を改めて学んだ。
- ②高額療養費制度で限度額上限が設定され、その金額が高く払えない場合は高額貸付制度が利用できる事が分かった。その為、返済は必要にはなってくるが、一時的に高額な支払いが必要になり支払いが出来ない場合にとっても有効な制度であると感じた。
- ③同月に違う病院を受診した場合、その時の自己負担を合算して計算出来る事が分かった。その為、違う病院受診しても月の上限額を超えた場合はその分の払い戻し出来る為、大幅に負担が軽くなる事が分かった。

1. 医療保険制度
2. 高額医療費制度
3. 手続き方法の説明

5. 講義全体の満足度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

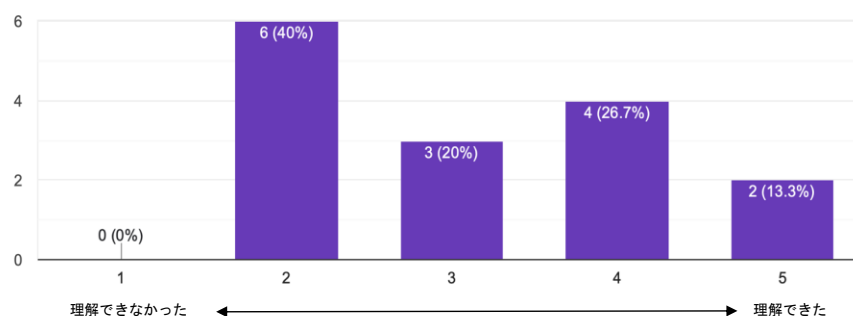
15件の回答



6. 講義内容について理解の程度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

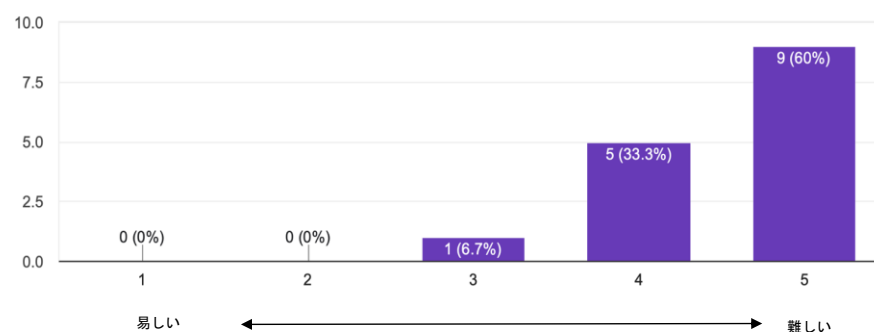
【5段階】

15件の回答



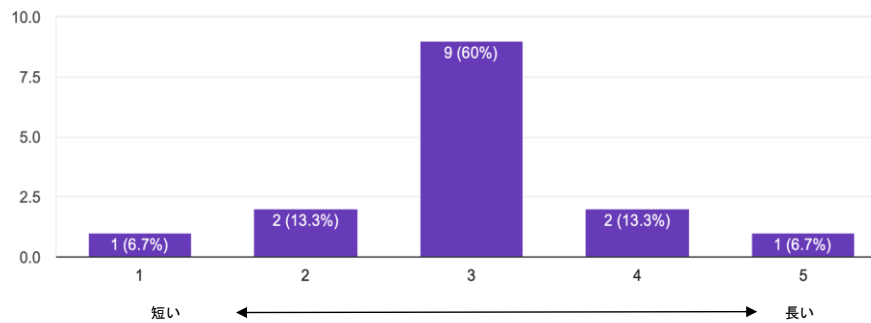
7. 講義内容の難易度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

15件の回答



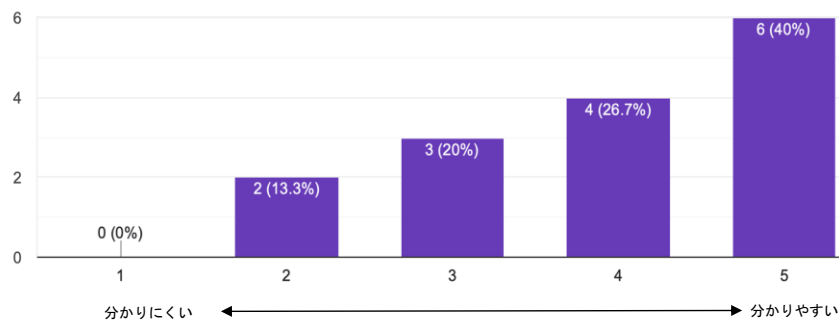
8. 講義の時間配分はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

15件の回答



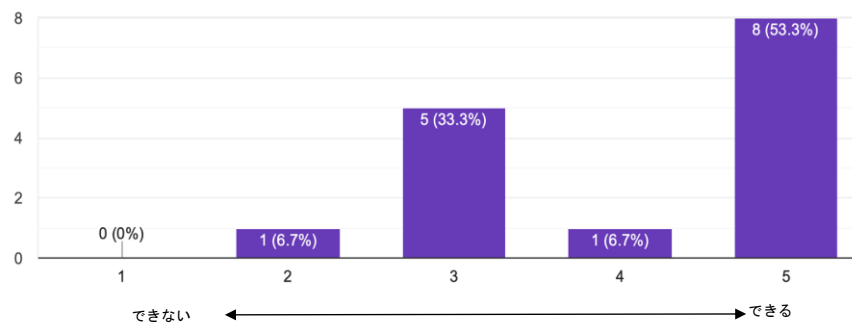
9. 資料の分かりやすさはいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

15件の回答



10. 内容は実践に応用できますか。該当する番号にチェックをつけてください。【5段階】

15件の回答



11. 本日の研修について具体的な感想・意見をお聞かせください。

制度をしっかり理解することで、患者様の経済的なサポートだけでなく心理的サポートできるよう改めて医療保険制度、使える社会資源について勉強し直したいと思いました。
グループワークは実践に役立つ内容でとても勉強になりました。

制度の理解がまだまだ不十分でした。すぐに必要となる知識なので、早急に学習します。
内容が難しかったため、あまり理解することができなかった。

こんなに医療保険の中身を知らなかったんだと実感しました。高額療養費や、高額貸付制度、入院費の概算など現場で使うにはまだまだ勉強が必要だと思いました。

支払い等に関しては、医事課さんへ依頼していました。
今回の講義で、医療保険の知識を知っておくことで、MSWで説明できることで、患者さんの不安を少しでも早く取り除くことができると感じました。
ですが、説明できるように、もっと勉強したいと思います。

苦手意識のある分野で、事例も難しく頭がフリーズしてしまいました。ですが事例を実際に考えることで、対応できるようになりたいという想いもできました。

高額療養費の限度額区分の計算したことがなかったので勉強になりました。

入院費について患者から聞かれることが多いが、これまで自分で計算したことがなかったため今回の講義でどのように計算を行えばいいのか勉強になった。
今回の講義でついていけない部分があったため、自己学習でも学び実践に活かしたい

今まで受けた研修の中で一番難しかったです。そう思うと全く理解できていなかったんだと痛感しました。MSWとして医療保険制度は絶対知っていかなければいけないので、今回の研修を機に学び直していきたいです。

先週、限度額の事を聞かれて月曜日に伝える事をお話したので事前に聞けて良かったです。

経済面の支援はソーシャルワーカーの支援の1つではあるが、私自身医療保険や入院・外来費に関しては直接医事課を案内したり、医事課に聞いている事が多かった。保険内容や限度額の区分の確認はしていたが、それをどうやって計算するかまでした事が無かった為、今一度経済面に関してのアセスメントをしっかり行い、利用者の自己決定の尊重の為にもしっかりとクライアントへ支援をしていきたいと改めて感じさせられた。

また、「説明責任」が行動基準にもあるように、お金だけでなく制度やサービス等1度調べて理解出来たでは満足せず、常に自分から調べていく意識を持つことが非常に大切である事を改めて学ばされた。

12. 今後の研修でとりあげてほしいテーマや希望する講師等についてお聞かせください。

MSWが直面するジレンマとその対応方法。

年金制度について、実際の事例をもとに勉強したいです。